

# 福岡水素エネルギー人材育成センター

## 第11回「経営者コース」のご案内

主 催：福岡水素エネルギー人材育成センター(福岡水素エネルギー戦略会議)  
後 援：独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)  
燃料電池開発情報センター(FCDIC)  
公益財団法人 水素エネルギー製品研究試験センター(HyTReC)

### 1. 経営者コースの概要

#### 1-1. 目的

水素エネルギーに関心を持つ企業の経営幹部等を対象に、水素関連技術に関する基本的な知識の習得を目指します。

#### 1-2. 対象

水素エネルギー新産業への参入を目指す企業の経営幹部

#### 1-3. 特徴

- ① 水素の性質や燃料電池などに関する基本的な知識を短時間で習得。(半日間)
- ② 水素エネルギー新産業の市場展望や、水素・燃料電池分野への新規参入企業に求められる技術・資質等をわかりやすく解説。
- ③ 少人数制で、個別の疑問にも丁寧に対応。
- ④ 戦略会議の支援により低受講料を実現。

#### 今回は特に・・・

ご要望にお応えし、水素エネルギーとは何か、なぜ必要性か、燃料電池とは何か、参入する為に何が必要かをわかりやすく解説するほか、水素・燃料電池分野を巡る国内外のビジネス動向にかかる生きた情報をお伝えします。

施設見学では、平成21年5月から販売開始されている家庭用燃料電池エネファーム、市場化に向け実証試験が進む水素ハイウェイ、燃料電池自動車をご覧ください。

## 2. 経営者コースの詳細

### 2-1. 開催日程

平成23年 6月2日(木) 12:50 ~ 17:40

### 2-2. 会場

九州大学伊都キャンパス 914・915号  
(福岡市西区元岡744番地)

#### [アクセス案内]

<http://suisin.jimu.kyushu-u.ac.jp/info/index.html>

#### ー公共交通機関をご利用の場合ー

地下鉄「博多」「天神」→ (地下鉄・JR 筑肥線) → 「九大学研都市」  
→ (昭和バス) → 「九大工学部前」下車

[時刻表] <http://www.f-suiso.jp/jinzaiikusei/itocampusjikokuhyoukeieisya.pdf>

※地下鉄「博多」「天神」から、「筑前前原」「唐津」「西唐津」行き電車をご利用ください。  
「九大学研都市」まで直通で運転されます。

#### ー自家用車をご利用の場合ー

キャンパス内に無料駐車場があります。守衛所で受付をお願いします。

※受付の際、本案内4頁「カリキュラム」を提示してください。車両の入構料が免除されます。

### 2-3. 定員

40名(定員に達し次第募集を締め切ります。)

### 2-4. 受講料

3,000円/人

### 2-5. カリキュラム

4ページに記載のとおり

### 2-6. アンケート調査

講義ごとに内容に関するアンケート調査を実施し、次回以降の参考とさせていただきます。

### 2-7. 名刺交換会(交流会)

講義終了後、任意参加で名刺交換会(交流会)を行います。人脈づくりにお役立てください。参加希望の方は併せてお申し込みください。

会場:稲盛フロンティア研究センター 1階「天天」

時間:17:50 ~ 19:20

参加費用:2,000円/人

## 2-8. 受講申込み方法

福岡水素エネルギー戦略会議ホームページからお申し込みください。

オンライン申込みフォーム

<https://www.sipstool.com/f-suiso/anq/index.php?p=20090309105516>

## 2-9. 受講料の納付について

受講申込者には、受講料及び交流会費(参加者のみ)の請求書を事務局から送付します。  
納付期限日までに指定の口座にお振り込みください。

※ 納付期限までに振込みが困難な場合は、事務局まで振込予定日を連絡してください。

## 2-10. 申込締切

平成23年5月19日(木) 定員に達し次第、申込を締め切ります。

## 2-11. その他注意事項

- ① 受付は申込み順とし、定員になり次第、募集を締め切ります。
- ② 受講料納付後は、返金することができませんのでご了承ください。  
(受講者の変更は可能です。)
- ③ 当コースの講座にお申し込みいただく場合は、次の誓約内容に同意頂いたものとみなしますので、あらかじめご了承ください。

[誓約内容]

当コースで開講される講座において次の行為を行わないこと。

また、故意にこれに違反する行為を行った場合に生じた損害の賠償責任を負うこと。

- 機器の損壊
- コース運営に支障をきたす行為 等

## 2-12. 問合せ先

福岡水素エネルギー戦略会議事務局 (福岡県商工部新産業・技術振興課内)

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7

TEL : 092-643-3448

FAX : 092-643-3436

E-mail : info@f-suiso.jp

### 3. カリキュラム

## 福岡水素エネルギー人材育成センター

### 第11回 経営者コース カリキュラム

		講義名	講師名
12:50～13:00	10分	開講式	戦略会議
13:00～13:40	40分	校長講話	渡邊浩之 校長 (トヨタ自動車(株) 技監)
13:50～14:50	60分	水素エネルギーとは	水素エネルギー協会 顧問 九州大学大学院 客員教授 岡野一清 氏
15:00～16:00	60分	定置用燃料電池分野に参入 するために	東芝燃料電池システム(株) 企画管理部長 高橋元洋 氏
16:10～17:10	60分	水素・燃料電池分野の今後の ビジネス展開	(株)テクノバ 調査研究一部 主査 丸田昭輝 氏
17:20～17:40	20分	施設見学(選択制) ※家庭用燃料電池・水素ステーション・燃料電池自動車	
17:50～19:20	90分	交流会	戦略会議

#### 第9回・10回の開催風景

[校長講話]



[施設見学]水素ステーション



[交流会]



## 各講義の内容・講師紹介

<b>渡邊 浩之 校長 ◆トヨタ自動車(株) 技監</b>	
<b>13:00~13:40 校長講話</b>	
<b>講義内容</b>	自動車の未来とモノづくり ・水素エネルギー・燃料電池分野をどうとらえるか? ・モノづくりとはどうあるべきか
<b>講師略歴</b>	昭和18年生 九州大学大学院工学研究科修士課程修了 工学博士 昭和42年 トヨタ自動車工業株式会社 入社 平成 8年 トヨタ自動車株式会社 取締役就任 平成11年 同社 常務取締役就任 平成13年 同社 専務取締役就任 平成17年 同社 技監就任 現在に至る
<b>岡野 一清 氏 ◆水素エネルギー協会 顧問/九州大学大学院 客員教授</b>	
<b>13:50~14:50 水素エネルギーとは</b>	
<b>講義内容</b>	・水素エネルギーはなぜ必要か ・水素の特性と安全 ・水素の製造、輸送、貯蔵技術 ・水素の利用技術 ・水素社会の構築に向けて
<b>講師略歴</b>	1990年：富士電機株式会社 燃料電池事業部長として、りん酸形燃料電池開発を推進。 1994年：(財) エンジニアリング振興協会 WE-NET 水素プロジェクト推進室長として、国のWE-NET 水素プロジェクトを担当。日本初の水素ステーションを建設。 2002年：水素エネルギー協会理事に就任、現在は顧問。 2008年：九州大学大学院客員教授に就任、現在に至る。
<b>高橋 元洋 氏 ◆東芝燃料電池システム(株) 企画管理部長</b>	
<b>15:00~16:00 定置用燃料電池分野に参入するために</b>	
<b>講義内容</b>	・燃料電池とは？(燃料電池の仕組み) ・家庭用燃料電池の実用化動向(PEFCとSOFC) ・家庭用燃料電池の本格普及に向けた課題 ・新規参入分野(補機)と企業に求められる技術・資質
<b>講師略歴</b>	1984年3月 京都大学 工学部 機械系工学科 卒業。 1984年4月 株式会社 東芝に入社。燃料電池システムの開発業務に携わる。 2001年3月 東芝インターナショナルフュエルセルズ株式会社設立。同社に異動。 2004年10月 プラント技術部長に就任。 2004年12月 東芝燃料電池システム株式会社に改称。 2007年10月 企画管理部長に就任。現在に至る。
<b>丸田 昭輝 氏 ◆(株) テクノバ 調査研究第一部 主査</b>	
<b>16:10~17:10 水素・燃料電池分野の今後のビジネス展開</b>	
<b>講義内容</b>	・水素・燃料電池分野にかかる国の政策動向 ・水素・燃料電池分野の普及に向けた世界の動き ・国内外の中小・ベンチャー企業の参入事例
<b>講師略歴</b>	これまで国、自治体、民間委託で水素・燃料電池関連のプロジェクトを多数実施。(財)日本自動車研究所、(財)エンジニアリング振興協会などの海外調査を担当。2008年度版と2010年度版のNEDO水素技術ロードマップでは、事務局として取りまとめを実施。2005年以来、主要国の政策交流組織である「水素・燃料電池国際パートナーシップ(IPHE)」の日本代表団メンバー。高圧ガス製造保安責任者資格取得。博士(環境学)、行政学修士(MPA)、理工学修士(応用化学)、国際関係学修士。
<b>施設見学(希望者のみ)</b>	
<b>17:20~17:40 家庭用燃料電池・水素ステーション・燃料電池自動車</b>	
<b>見学内容</b>	平成21年5月から販売開始されている家庭用燃料電池エネファーム、市場化に向け実証試験が進む水素ハイウェイ、燃料電池自動車をご覧ください。